

東北日日新聞

刊休無中
日町石城平小
新十番地東北
報社東北
日六日

比佐、若松兩氏の連帯借金 元利合計四千二百圓也

若松氏はもらつた小田氏はやらぬ

言ひ分がどうでも支拂命令が物を言ふ

石城民政黨部の争闘化は、悲壯なる覺悟をしてゐる。その後、矢先若松松議と比佐代議士とが連名で小田吉充當しやうとする小田吉治次氏から借用に及んでゐる氏は語る。

比佐、若松連帯で二千圓也を借用してゐることは事實であるが小田氏の意志も當初は寄附であつたらしいし、その後十年間もその儘であつた問題が天來のやうに明るみへき石城地方は數日來近來にならけ出されるに到つたといふは意味深長である。

小田氏が債権を譲渡したから關係がないと言明し、ても吾々は三千の黨員が芽も例年より一週間早いた

發がした桑に 降霜のうれいあり

小名濱測候所より發表 郡南菊田方部に

春蠶の掃立をなすべく目下準備中の由であるが小名濱測候所では本二十二日夜郡南菊田方部に降霜のおそれありと一般養蠶家は注意し

てほしいと發表をなした

淺野氏のウメ立に 小名濱町民大反對

實現せば漁業上に大支障 許可せぬ様に各縣へ陳情

小名濱商港計劃に對し百萬つた小名濱漁業組合の驚き圓の寄附契約をなしその交は一方ならずこれが實現する換條件として一萬五千坪のるにおいては折角の漁港も埋立地使用権を獲得する事港内面積を狭められ漁業のになつてゐる東京市淺野德支障からずとしこれに反一郎氏は今回これとは別個對し町會の決議に基き立花に小名濱漁港内なる東側江小名濱漁業組合長は二十一

名町大字網取船入海岸に日出縣淺見土木課長小柳知工費十六萬圓の豫算で長方を訪れ陳情書を提出し屢形に九千坪の埋立計畫を提す反對意向を述べるところ

出題におよんでゐた事を知

標本販賣の 運動費と詐稱して

ニセ記者五十圓を着服 問題は相當進展の模様

平署高等課では社會民衆黨と偽り鈴木から現金五十圓を運動費と稱して着服した二圓合計六萬七千五百九十を二十二日日本署に召喚の上儘今日に至るも何等音沙汰

秘密裡に取調べをなしたつが、ないので不審を抱き釜屋

あるが事件の内容を探聞す商店に聞き合したところ一割六分五厘弱に當つて各組

るに巧妙なる詐欺事件で平度交渉は受けたが拒絶した合の交付金額は左の如くで

町六丁目鈴木信次(三七)が最近南洋から多數動物の博

動用標本を持つて歸朝し之れが販賣員を物色中なのを知り平町四軒町井上某の紹

介で渡邊が新聞記者と稱し岩瀬郡牟婁村安藤甚太郎は中歸宅させた處其後音信不

販賣方を引受け平町富豪平町鎌田町紺野金吉を相手連なので不審を抱き調査し

屋商店が石城郡内各町村の取り平署に詐欺の告訴を提した結果紺野は金を五十

小學校五十五校に對し標本起したが其の理由は安藤が圓で白井興業部の女相撲に

一組宛を寄贈する事になり紺野の四女(一八)を大賣つてしまつた事が解り前

一個四十圓宛として二千二百正十五年から十ヶ年間金二倍金詐欺として告訴をなし

百圓で買込みを交渉中であ

子不孝な親父を 前借詐欺で告訴

奉公先の娘を女相撲に賣る

岩瀬郡牟婁村安藤甚太郎は中歸宅させた處其後音信不販賣方を引受け平町富豪平町鎌田町紺野金吉を相手連なので不審を抱き調査し

屋商店が石城郡内各町村の取り平署に詐欺の告訴を提した結果紺野は金を五十

小學校五十五校に對し標本起したが其の理由は安藤が圓で白井興業部の女相撲に

一組宛を寄贈する事になり紺野の四女(一八)を大賣つてしまつた事が解り前

一個四十圓宛として二千二百正十五年から十ヶ年間金二倍金詐欺として告訴をなし

百圓で買込みを交渉中であ

植田町 優良納税組合

二十日表彰式舉行
石城郡植田町四年度優良納税組合表彰式は二十日午前

十時から同町小學校に於て舉行したが同月十五日

現在による組合数は二十二組合加入戸數三百五十一

組合加入戸數三百五十一

組合加入戸數三百五十一

組合加入戸數三百五十一

組合加入戸數三百五十一

口論の末 重能で毆打

平署に告訴さる
石城郡神谷村中神谷居住平町志賀飯方人夫飯坂信夫

(二七)は平町警署電話所人夫吉田大助(三一)と去る十

三日午後六時ころ口論の末大助のため頭部を毆打され

全治三週間を要する傷害を受けたので二十二日平署に

大助を相手取り告訴をなし

平署主催の 消防劇開演

廿四五の二日間
平署並に平消防組主催の消防劇は来る二十四五兩日午

後六時から平町聚樂館に於

自轉車を窃取

昨二十一日午後十時頃平町大町若松醫院方患者見舞ひ

に來た夏井村山崎醬油醸造

三錢▲植田藝妓屋三十二業若松時夫所有自轉車價格

圓五錢▲仁井田十二圓三十五圓を何者にか窃取され

十三錢▲上町六圓八十六九事を判明眞蒼になつて平

錢▲佐又カ六十圓▲江署へ届出た

平獵友射撃會

平獵友會主催射撃會は二十

七日午前八時から石城郡飯

▲山崎田十五圓二十五錢野村大谷川瀨常設射撃場

金畑五圓八錢▲共榮七圓に催される競技方法は一部

四十六錢▲昭後一圓八十單銃クレー一ヶ撃ち二部連

一錢▲東田、下前、(愛宕銀クレー)續け撃ち等で一等

は五年四月設立で未無交より二十五等までの賞品が

ある由

勿來養鷄總會

勿來町養鷄組合總會は二十

七日午後一時より勿來青年

會館に開き四年度決算を報

告するが終つて三輪主任の

養鷄經營に關する講話があ

出生

▲平立町八七佐藤千代吉氏
三女容子
▲平町三丁目三八篠原壽氏
二男昭夫
▲平井屋町四二運輸業草野
徳之助(五七)茨城縣多賀
國中郷村豊田大森きわ
(四三)
死 亡
▲平鍛冶町一〇大谷あい子
(一)

戯曲 夢に見た悲曲 一幕一場

ワコード文藝俱樂部
同人 正木朝夫

登上主要人物

幾子……元藝者で敏夫の生みの母

敏夫……いく子と朝之との間に出来た子

朝之……敏夫の眞實の父

藤吉……敏夫の育ての父

お照……藤吉の妻で敏夫の育ての母

第一幕

第一場

暮れ行く雪

舞臺は東京から五十里ばかり北のある片田舎の往來、彼方に眺ゆる連山、都を離れた感じが舞臺の中心になつておればよい。一里十町も行けば小さなステーションと町がある。雪の降る暮れ行く夕方、低い下駄をはいて、傘をもたない、生れたばかりの子供を抱きしめつゝ、暮れ行く雪の片田舎道をトボ／＼歩む幾子、子供は火のついた様に泣く。

幾子「敏ちゃん、泣かないのね、泣かないの、だまるの、お願いだから泣かないで下さい、お乳がほしいの、お乳がほしいのですか、だげぞ、お母さんは、お乳が出ないんですよ、だから今少し辛棒して泣かないで下さいね、今少し辛棒して泣かないで下さいね、さうすれば牛乳があるから、たくさん上げますから泣かないで待つて下さいね、泣かないんですよ、

だ依然としてふりそそぎパンと寒むきに泣く彼女等母子を、うちめめすうに激しく、や／＼もすれば東西の弱い風さへ、加つて来た。

(敏夫のほゝを幾子は自分の胸にあてながら黒服がちな、腫を我子に與ひ不孝な子よ、可哀想な父親を失つた子よと、嘆かなければならなかつた)

磐城炭礦・最優等炭

石炭 正味十貫目

東京瓦斯コークス一等品

コークス 一俵金一圓二十錢

本炭代用。無煙無臭。家庭用炭。

玉炭 一箱金貳圓也

石炭ハ目方ノ正確ヲ期スル爲メ正味十貫目ヲ一俵ノ標準ト定メマシタ

配達迅速(電話二三七番)

磐城炭礦販賣總代理店

阿部石炭商店

小さなお子様のために

「防水マント」を

責任附の丈夫な品を揃へました

平 四

ツルヤ

電話一四〇

貸切自動車の御用命は

昭和タクシーへ

只今高級車クラムペーチ新型セタンが入車致しました是非御試乗下さい

平 驛前

昭和タクシー

電話は三四三番

サシミ

増築落成 病室完備

入院随意

上田外科醫院

平南町電話 二二九番

靈藥 ムテキ

ユビバネ、ヤケド、キリキズ、梅毒乳ハレ、リウマチス、



使用した其の日からスグク婦人病自宅療治。數ヶ年苦しんだ悪性の子宮病に悩む人を研究臺として發明した理想的子宮病藥

平町縣社下古鍛冶町

發賣店 阿康藥舗

電話四四番

春!!花!

この季節こそ最も寫眞のよくなる時です

大野寫真館

平町仲田町

何時でも出張撮影に應じます

▲時計の病氣は大谷へ

如何なる病氣も直る……

優良なる器械で安く

殊に學生諸君には元價で提供す

平 三 大谷時計病院

電話十九番

春

に春の年〇三九一

きはさふ

取種各モトシマ水防

すまりあてへ備

▼背 廣	一、〇〇リ
▼レンコート	七、〇〇リ
▼トニ	七、五〇リ
▼モチ	三、五〇リ
▼バー	八、五〇リ
▼バリ	八、五〇リ

な か や 洋 服 店

平二 電203

専門 内科一般

内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五

川井内科診療所

電話七二三番

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

勸業債券兩替
復興債券金融

多田井質店

電話八六九

漆器の御用命は

是非和久井屋へ……

電話四〇五